



企業におけるコスト効率性とシステム構築

黒田インターナショナル

黒田 毅

人件費におけるコスト効率性における企業基準の転換は、企業のシステム化における新しい企業環境を提案できる。

これらは企業の大幅な効率化が、企業基準の転換とともに可能であり、システム化は、IT システムにおける企業管理と経営を提案し、これら効率化は、企業の安定、健全な利益構築を可能とする。

これらは現状の産業革命が、IT システムにおける新しい効率基準を有することに対しても、より優れた企業環境を提案できる。

これら企業経営基準の転換は、大幅な企業転換を行い、これら効率化した企業環境は、企業システムにおける企業経営へ転換する。

海外における安価な人件費要求に対しても、これら国内における人件費において企業が効率的コスト運営を行うことで、インダストリー4.0 への転換とともに、国内における事業構築が、海外との対峙を可能とできるのである。

これら企業生産性の大幅な向上は、高い利益性への転換を企業が可能とできるのである。これらは割高な製品価格基準を有する国内が、価格転嫁における海外企業との競争への参加を新たに実現できるのである。

これらは世界のグローバル化と先端企業の革命的な現実を有することにおいて、企業がこれら同一基準における自己企業の改革を要求される。

時代変化は、必ず存在し、過去におけるトヨタの看板システムは、今日においては、テスラの先端生産システムへと移行しているのである。